

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------------------|----|--------------|
| ○事業所名 | こども療育研究室Lulukis (児童発達支援) | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 2月 9日 | | 2026年 2月 22日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 19 | (回答者数) 5 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 2月 9日 | | 2026年 2月 22日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 8 | (回答者数) 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 3月 10日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 充実した看護スタッフ配置による安全管理 | 医師の指示書に基づき、利用児童ひとりに対し各看護師を配置し最適な医療的ケアの提供を行っています。訪問看護師や病院との連携を図り、月に1回の看護カンファレンスにて計画の見直しを行っています。 | 研修の機会を設け、第三者評価を受けることや周辺事業所との連携の中で、より最適なサービスの提供化を図っていききたいと考えています。 |
| 2 | 理学療法士による、児童に応じた機能訓練の提供 | 医師の指示書に基づき、理学療法士が利用児童一人ひとりに最適な訓練プログラムの立案～実施を行っており、その内容について全職種にて月に1度見直しを行っています。 | 第三者評価を受けることや周辺事業所との連携の中で、より最適なサービスの提供化を図っていききたいと考えています。 |
| 3 | 児発管をはじめ、相談員や関係事業者との連携 | 提供したサービスや新たな情報について、報告書を作成し定期的に相談員と内容の情報共有をしています。 | 第三者評価を受けることや周辺事業所との連携の中で、より最適なサービスの提供化を図っていききたいと考えています。 |

| | 事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 地域活動へ積極的に働きかける機会が少なく、関係機関のみの連携が限定的となる場合が多い | 行政機関との連携不足および智知識不足 | どのような施設なのかを知ってもらうために地域の行深や会議に参加したり、事業所の行事に招待したりと近隣の住民や保育園との交流を図っていききたい |
| 2 | 家族支援や保護者会などが十分ではない | 送迎時のみの短時間コミュニケーションであったり、職員配置が利用児対応中心である。また、面談の機会が少なく保護者同士の交流の場がない。 | 定期的な保護者の面談を実施。家庭での困りごとや医療面の変化を確認。保護者同士での交流の場を設け、ご家族を招いての研修会などを行っていききたい。 |
| 3 | マニュアルは整備しているが職員への周知、実践的な活用が十分ではない部分がある | マニュアル確認の機会が少なく、新規職員への周知が十分ではない。感染発生時などに保護者への周知が必要な部分がうまくできていないことがある | マニュアルの再確認。スタッフ会議等で事例共有と対応方法の確認 |